

人 文 化
專 業 化
企 業 化
國 際 化



NATIONAL KAOHSIUNG UNIVERSITY
OF HOSPITALITY AND TOURISM
國立高雄餐旅大學

2020年國立高雄餐旅大學
應用日語國際學術研討會
會議手冊

教育部：109年度高等教育深耕計畫
主辦單位：國立高雄餐旅大學應用日語系
協辦單位：高教深耕計畫辦公室、社團法人台灣應用日語學會
指導單位：教育部
會議時間：民國109年11月7日(星期六)



NATIONAL KAOHSIUNG UNIVERSITY
OF HOSPITALITY AND TOURISM
國立高雄餐旅大學

81271 高雄市小港區松和路一號
No.1, Songhe Rd., Xiaogang Dist., Kaohsiung City 81271, Taiwan (R.O.C.)
T 886 7 806-0505 F 886 7 806-1473
www.nkuht.edu.tw



國立高雄餐旅大學

2020年應用日語國際學術研討會

日期：民國109年11月7日(星期六)上午9時30分至下午4時30分
 地點：國立高雄餐旅大學行政大樓六樓國際會議廳(高雄市小港區松和路一號)
 主辦單位：國立高雄餐旅大學應用日語系
 協辦單位：社團法人台灣應用日語學會、國立高雄餐旅大學高教深耕計畫辦公室
 指導單位：教育部

議程表

時間	議程
09:30 10:00	報到 地點：行政大樓六樓
10:00 10:10	開幕式 地點：行政大樓六樓國際會議廳
10:20 12:00	專題演講 題目：日本語教育とグローバル人材育成 演講人：日本台灣交流協會 高雄事務所 坂本裕子 日本語專家 主持人：國立高雄餐旅大學應用日語系 吳岳樺主任 地點：行政大樓六樓國際會議廳
12:10 13:30	1. 午餐時間&書展(國際大樓二樓 H201、H202、H203) 2. 社團法人台灣應用日語學會第十屆第一次會員大會(行政大樓六樓行政會議室)

論文發表

會場	A場地 國際大樓 H206	B場地 國際大樓 H207
主持人兼 評論人	邱若山 靜宜大學日本語文學系 教授兼系主任	釋依昱 義守大學應用日語學系 副教授
13:30 14:00	發表人 彭思遠 東吳大學日文系助理教授 題目 『課長島耕作』に見る異文化交流 —アジア、アメリカへの眼差し—	發表人 賴衍宏 靜宜大學 日本語文學系 副教授 題目 台湾における短歌——補完すべき視点

論文發表

主持人兼 評論人	賴錦雀 東吳大學日本語文學系 教授	陳采玉 高苑科技大學應用外語系 副教授兼系主任
14:00 14:30	發表人 方斐麗 文藻外語大學日本語文系助理教授 題目 多文化を取り入れた遠隔授業の 試み—「日文寫作」の授業を例 として	發表人 蔡明興 國立台北大學應用外語學系 副教授 題目 ブルガリア文学の日本語訳と中国語訳 —イヴァン・ヴァーゾフの短編小説 『ブルガリアの女』を例として—
主持人兼 評論人	黃招憲 台北城市科技大學餐飲管理系 教授兼研發長	林明煌 國立嘉義大學教育學系 教授兼系主任
14:30 15:00	發表人 王湘榕 靜宜大學 日本語文學系 助理教授 題目 料理文に見られる日中の序列の 接続表現	發表人 徐毓瑩 吳鳳科技大學應用日語系助理教授 題目 訪日國際教育旅行効果の考察
15:00-15:30	茶 敘	

主持人兼 評論人	陳志文 國立高雄大學東亞語文學系 教授兼人文社會科學院院長	池田辰彰 玄奘大學應用日語學系 副教授兼系主任
15:30 16:00	發表人 葉淑華 國立高雄科技大學應用日語系教授 題 目 日本語教育におけるMOOCの作成 —教材開発と実施を中心に	發表人 桑澤悟史 南臺科技大學應用日語系助理教授 題 目 日本における再帰的近代と中高年の引 こもりとの関連について
主持人兼 評論人	葉淑華 國立高雄科技大學應用日語系 教授	劉伯雯 國立高雄科技大學應用日語系 副教授
16:00 16:30	發表人 林明煌 國立嘉義大學教育學系教授 蔡秉宸 國立嘉義大學教育學系博士生 題 目 我國大學教師日語教學風格之初探	發表人 謝億榮 文藻外語大學日本語文系助理教授 題 目 コロナウイルスにおけるコンビニ産業 の対策：沖縄を中心に
16:30	賦 歸	

基調演講：

講師：日本台灣交流協會 高雄事務所 坂本裕子 日本語專家

略歴：坂本裕子 SAKAMOTO Yuko 東京都出身 名古屋市在住

學歷：愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科異文化コミュニケーション専攻博士
後期課程 満期退学

専門：日本語教育、異文化コミュニケーション

教歴：

海外

中国 日本語教育専門家（西安外国語大学）

ロシア 国際交流基金日本語教育専門家（極東国立総合大学）

ベトナム JICA プロジェクト（JBIC 円借款）

日本語教育専門家（ハノイ工科大学 IT 学部 IT 日本語学科副主任）

国内

拓殖大学 非常勤講師

神田外語学院 非常勤講師

愛知工科大学外国語学校 主任教員

国立豊橋技術科学大学 グローバル工学教育推進センター 特任准教授

『課長島耕作』に見る異文化交流—アジア、アメリカへの眼差し—

東吳大學日文系 助理教授

彭思遠 PENG SZU-YUAN

摘要：

日本の漫画藉由扣人心弦的故事和藝術感畫風，經由各種語言翻譯，早已風靡全球。關於動漫畫在語言教學應用之論文不勝枚舉，本文擬從異文化溝通觀點，檢視主角課長島耕作兩次外派經驗，除了探討其時空背景、人物設定與描寫之外，也思考漫畫在語言教學之可能性與意義。

關鍵字：『課長島耕作』 漫畫 異文化溝通

多文化を取り入れた遠隔授業の試み—「日文寫作」の授業を例として

文藻外語大學日本語文系 助理教授

方斐麗 FANG FEI-LI

要旨：

「グローカリゼーション」の時代である今、資金、技術、情報、文化、人材などが急速の進化を遂げ、国境を越えた移動により、世界的および地域的な交流はますます強くなりつつである。その需要に応じて、遠隔授業の授業設計も多様なニーズに応え、より実用性の高いものが望まれる。必修科目の「日文寫作」を単に作文の専門学習にとどまらず、日本語のカリキュラム・デザインの際に公共性、自主性、多元性の三つの要素を加えることで、多元的な授業デザインにより、深い学びができ、中級レベルを目標とした遠隔授業の可能性も開くということが判明した。本研究では、「目的・目標を明確にした授業デザイン」と「学生の状況を把握し、学習効果を高める評価」を核心として、「日文寫作」の遠隔授業に着目し、試みたものである。教室活動における学生の作文関連知識のリサーチ及び言語能力の運用、そして思考力と遂行力の育成に目標とし、問題解決に必要とするストラテジーを用いることで、多文化と多言語に跨る類似点と相違点を理解し、多様性を尊重し合うことを試みるものである。こうして鍛えられた総合的な運用力により、広い視野を持つ国際観で、自らの省察力を高め、よりよい異文化コミュニケーターとしての素養を身につけることに期待するのである。

キーワード： 遠隔授業 カリキュラム・デザイン 多文化
異文化コミュニケーション